



新潟大会

第2次案内

申込方法について

●お申込方法・スケジュール



都道府県・政令指定都市PTA事務局
※変更・取消は(様式3)のメール送付にて随時受付(変更・取消については22~23ページをご確認ください)
日本旅行新潟支店・新潟大会デスク宛

日本旅行新潟支店・新潟大会デスク
(発送物)
・大会参加証(参加分科会決定通知つき)
・シャトルバス・宿泊・佐渡汽船予約確認書
・オプショナルツアーフィナーリゼーション
・大会参加費請求書
・旅行代金の請求書
7月24日(火)までに発送
都道府県・政令指定都市PTA事務局宛

都道府県・政令指定都市
(PTA事務局)
・大会参加費
・シャトルバス
・宿泊代金、佐渡汽船代金(日本旅行へ申し込んだ方)
・オプショナルツアーフィナーリゼーション
8月9日(木)までに振込入金
日本旅行新潟支店・新潟大会デスク宛

参加申込用紙様式のダウンロード、記入方法等の情報は新潟大会ホームページをご覧ください。

振込口座

大会参加費(@5,000円×申込人数) 旅行代金(宿泊・シャトルバス・佐渡汽船・オプショナルツアーアイテム等)
[店名]みずほ銀行十五支店 [口座番号]普通3103174 [口座名義]株式会社日本旅行 [口座名義ヨミ]カニホンリョウコウ
※振込手数料は参加者の負担となります

分科会・全体会のお問い合わせ先

第66回日本PTA全国研究大会新潟大会実行委員会事務局

〒940-0084 新潟県長岡市幸町2-1-1
さいわいプラザ6階
長岡市教育委員会青少年育成課内

TEL・FAX 0258-94-6300



新潟大会ホームページ

<http://www.niigatacitypta.jp/zenkoku-pta-niigata/>

お申込み先・お問い合わせ先

[旅行企画・実施](株)日本旅行新潟支店 「第66回日本PTA全国研究大会新潟大会」係宛

TEL 025-364-1663または025-364-1791 FAX 025-248-6167 E-mail 66pta@nta.co.jp
大会デスク担当 数村、柴田奈々、植村

〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通1-3-8 明治安田生命ビル1階

営業時間:月~金 9時30分~17時30分(土日祝は休業)

観光庁長官登録旅行業 第2号 (一社)日本旅行業協会正会員

旅行業公正取引規約会員 総合旅行業務取扱管理者:植村 豊

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお訊ねください。

東日本H30-079

第66回日本PTA全国研究大会 第50回日本PTA関東ブロック研究大会

新潟大会

教育は未来を拓く 新潟発 米百俵の精神!
~新潟に集い、語ろう 未来のひとつづくり~

平成30年

8/24(金)

8/25(土)

分科会

全体会



「全国PTA会員の皆様へ」

公益社団法人日本PTA全国協議会は昭和23年に創立し、本年70周年を迎えました。

戦後日本は、国づくりの中心に教育を据え民主化を目指しました。日本PTAは子どもたちの健やかな育ちを願い、大人が互いに学び合える場となるよう、日本最大の社会教育関係団体として意に違わぬ活動を行なって参りました。時代が変わろうとも、社会総がかりで子どもたちの健全育成を成し得るには先ず家庭教育の実践と充実が必須です。

新潟大会は日本PTA70周年の節目であり、スローガン「教育は未来を拓く」の想いを軸に開催されます。新潟県内10会場で開かれる分科会は、今まで子どもたちを中心置き、保護者や学校そして地域を取り巻く今日的な課題を抽出し、対策や今後の方策を見出しています。

全国から集う8,000名の皆様と共に70年の重みと歴史を感じ、大会期間を通して「新潟に集い、語ろう 未来のひとつづくり」を考え議論することによって、これからのヒントがたくさん見つかると思います。家庭・学校・地域がそれぞれの責任を担い、当事者意識を持って本気で向き合うきっかけになる事を心より願っております。

本年夏、新潟で多くの皆様が出会い、日本全国が更なる絆で結ばれ、PTA活動の実践に繋がる大会になる事を期待し、多くの皆様の御来場を心よりお待ち申しあげます。

公益社団法人日本PTA全国協議会 会長 東川 勝哉

主催: 公益社団法人日本PTA全国協議会 関東ブロックPTA協議会 新潟県小中学校PTA連合会 新潟市小中学校PTA連合会
後援: 文部科学省 復興庁 全国都道府県教育委員会連合会 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国公立学校教頭会 新潟県 新潟県議会
(予定) 新潟県教育委員会 新潟市 新潟市議会 新潟市教育委員会 新潟県内市町村 新潟県内市町村教育委員会 新潟県小学校長会 新潟県中学校長会
新潟県小中学校教頭会 一般社団法人全国高等学校PTA連合会 新潟県高等学校PTA連合会 全国国立幼稚園・子ども園PTA連絡協議会
新潟県私立幼稚園PTA連合会 全国国立大学附属学校PTA連合会 公益社団法人日本教育会 BP(いじめ防止支援)プロジェクト構成大学
(上越教育大学・鳴門教育大学・宮城教育大学・福岡教育大学) 新潟日報社 朝日新聞新潟総局 毎日新聞新潟支局 読売新聞新潟支局
NHK新潟放送局 BSN新潟放送 NST TeNYテレビ新潟放送網 UX新潟テレビ21 公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部
一般財団法人新潟県教職員厚生財団



シンボルマーク



新潟大会開催概要

大会趣旨

少子高齢化が大きな社会問題となり、児童・生徒の減少や学校の統廃合が進んでいます。また、ネット依存・いじめなど情報環境の変化に伴うトラブルの発生は、便利さや豊かさの追求が必ずしも子どもたちにとって健全な教育環境を提供していないことも分かってきました。

子どもたちを取り巻く社会が変化しても、教育の機会均等と地域コミュニティーの中心的な存在としての学校への期待は依然として高く、また、全ての子どもたちが質の高い教育を受けることができ、夢を持ち、明るい未来を信じて成長することを保護者は願っています。

そのため学校、地域と共に魅力的な学校づくり、地域づくりにPTAが果たす役割への期待は大きく、一層自覚を持った参画が求められています。

越後新潟は、「米百俵の精神」の地です。「百俵の米も、食えばたちまちなくなるが、教育にあてれば、明日の一万、百万俵となる。」と藩士を論し、救援米を売り、国漢学校を建て、故郷の未来を教育に託した小林虎三郎の想いを、全国から集うPTA会員と語り合うことで、教育、子育ての意義を再確認すると共に、今後のPTA活動の意欲付けとします。

大会スローガン

教育は未来を拓く 新潟発 米百俵の精神！

～新潟に集い、語ろう 未来のひとづくり～

メインテーマ

- たくましい子どもを育て、命を守るPTA活動
- 社会の変化に対応し、故郷に誇りを持てる子どもを育てるPTA活動
- 魅力的な学校づくり、地域づくりとPTA活動
- 会員のネットワークを広げ、学びを深めるPTA活動

期日・会場

●分科会：8月24日（金）新潟県内 10分科会会場 ●全体会：8月25日（土）アオーレ長岡、ハイブ長岡

大会日程

8月24日（金）分科会（県内10会場）

	12:00	13:00	13:20	13:45	16:45	17:00
第6分科会 以外	受付	アトラション	開会	基調講演・実践発表・パネルディスカッション	閉会	
第6分科会 のみ	11:00	12:00	12:15	12:40	15:15	15:30
	受付	アトラション	開会	基調講演・実践発表・パネルディスカッション	閉会	

台風等緊急事情により佐渡汽船が欠航となった場合、第6分科会申込者は第1分科会（上越市）または特別第2分科会（新潟市）へ振り替えさせていただきます。

8月25日（土）全体会・関東ブロック大会

	8:00	9:00	9:30	10:30	12:00	12:20	12:40	13:00
	受付	アトラション	開会	記念講演	閉会	休憩	関東ブロック大会	

参加予定人数

全国小・中学校PTA会員及び教育関係者 約8,000人

参加費

一人 5,000円

※1 参加費は分科会、全体会の2日間を通しての金額です。

※2 大会の一部または全部に不参加の場合でも参加費の返金はいたしません。

※3 参加費に昼食弁当代は含まれておりません。



分科会内容

分科会	領域	研究課題	基調講演者	会場
第1分科会	組織運営	PTAからはじまる チーム活動 ～地域とともに歩む 笑顔あふれるPTA活動～	眞鍋 政義 氏 全日本女子バレーボール 元代表監督	上越文化会館 収容人数1,500人
第2分科会	家庭教育	子どもの心が育つ家庭教育 ～これからの社会を生きる 子どもたちの成長を願って～	中山 理 氏 麗澤大学学長・ 道徳科学教育センター長 千葉県教育委員	燕三条地場産業 振興センター 収容人数1,500人
第3分科会	学校教育	先人の知恵を現代の 学校教育にどのように生かすか ～学校とともに歩むPTAの在り方～	高橋 謙 氏 新潟県長岡市教育委員会 教育長	長岡 グランドホテル 収容人数700人
第4分科会	地域連携・ 広報活動	子どもたちの健全な 成長に資する地域の教育力 ～PTA活動の輪の広がりを目指して～	新谷 さゆり 氏 岐阜県白川村 教育委員会社会教育主事 文部科学省 コミュニケーション・スクール推進員 (CSマイスター)	見附市文化ホール アルカディア 収容人数800人
第5分科会	情報と人権	ネット社会における 大人の役割 ～子どもたちの安全を守るために～	竹内 和雄 氏 兵庫県立大学環境人間学部准教授 ウィーン大学客員研究員	柏崎市文化会館 アルフォーレ 収容人数1,100人
第6分科会	環境教育	自然環境を生かす教育への参画 ～子どもたちの豊かな未来を求めて～	辰野 勇 氏 登山家 冒險家 (株)モンベル会長	両津文化会館 収容人数1,000人
第7分科会	国際理解	多文化共生と コミュニケーション能力の育成 ～国際社会でたくましく生き抜く 子どもたちのために～	羽賀 友信 氏 新潟県長岡市国際交流センター長 長岡市教育委員	南魚沼市民会館 収容人数1,200人
第8分科会	健康安全	子どもたちの笑顔を、 そして命を守るために ～児童生徒の事件や事故への対応と 未然防止に向けた取組～	碓井 真史 氏 新潟青陵大学大学院教授	ANAクラウン プラザホテル新潟 収容人数1,000人
特別 第1分科会	日本PTA 全国協議会 担当	「いじめ」 心の声に気付くには ～見逃さないために出来ること～	阿形 恒秀 氏 国立大学法人鳴門教育大学教授 いじめ防止支援機構機構長	新発田市民 文化会館 収容人数900人
特別 第2分科会	文部科学省 協力	地域学校協働活動推進のために PTAが果たす役割 ～参加者全員の自由な意見交流で 次の一手を考えよう～	西川 由香 氏 文部科学省生涯学習政策局 社会教育課地域学校協働推進室長 PTA等共済室長 放課後子ども総合プラン 連携推進室長	朱鷺メッセ 収容人数1,000人

※基調講演者等の役職は平成30年4月現在で記載しております。



❖第1分科会❖ 組織運営

研究課題

PTAからはじまるチーム活動

～地域とともに歩む笑顔あふれるPTA活動～

現状と課題

PTAは保護者と教職員が、子どもたちの健やかな成長を願って活動するものです。全国的に、多くの地域で進んでいる少子化や保護者の生活形態の多様化がPTAの組織づくりや活動の在り方に新たな課題をもたらしています。

PTAを活性化するためには、リーダーがメンバーと心の絆を結び、力を合わせて活動することが大切です。会員一人一人が子どもたちの笑顔のために活動し、任務を終えるとき充実感や達成感をもって引き継ぐことができるようなPTAにしたいものです。

PTAという組織を、家庭・学校・地域の中でチームとしてとらえ、どのように活性化していけばよいでしょうか。学校を取り巻く社会環境が年々歳歳変化する中で、地域と連携し地域とともに歩むこれからのPTA活動を考えます。

討議の視点

- 1) 少子化が進む学校におけるPTAの活動
- 2) リーダーとメンバーが共に充実感・達成感をもつPTAの運営
- 3) 「チームPTA」を活性化する家庭・学校・地域の連携

提言者

- 基調講演者
眞鍋 政義 氏
全日本女子バレーボール元代表監督
- 実践発表者
木村修一氏及びPTA会員一同
旧新潟県糸魚川市立市振小学校保護者代表
- コーディネーター
長谷川 敬子 氏
国立大学法人上越教育大学特任教授
- パネリスト
横澤 富士子 氏
新潟県糸魚川市教育相談員
- 中野 敏明 氏
新潟県上越市教育委員会前教育長
- 堀川 義徳 氏
新潟県小中学校PTA連合会前会長
- 中島 智子 氏
山梨県PTA協議会副会長(母親代表)
- 森本 卓也 氏
公益社団法人日本PTA全国協議会理事

❖第2分科会❖ 家庭教育

研究課題

子どもの心が育つ家庭教育

～これからの社会を生きる子どもたちの成長を願って～

現状と課題

日本の子どもたちは、多様化が進む家庭状況、情報化やグローバル化によって変化する社会の中で、様々なことを体験し、学び、成長しています。近年の子どもたちの傾向として、豊かな感性、国際性、ボランティアや社会貢献への意欲等で良い姿が見られます。一方、生命や人権を大切にする心、自制心や規範意識、人間関係を築く力等の面で弱くなっていると言われています。諸外国と比べて自尊感情が低く、将来への夢を描けない子が多いとの指摘もあります。

このような現状にある子どもたちに、家庭・学校・地域の中で体験を通して道徳心を育むことの重要性が高まっています。家庭生活中で子どもたちの健やかな心の成長を促すために、私たち大人はどう取り組んでいかなければよいか、共に考えましょう。

討議の視点

- 1) 変化の激しい社会を生き抜く力
- 2) 体験を通して育む道徳心
- 3) 子どもと心の絆を結ぶ親子の関わり方

提言者

- 基調講演者
中山 理 氏
龍澤大学学長・道徳科学教育センター長
千葉県教育委員会
- 実践発表者
大小原 利信 氏
特定非営利活動法人・
日本ゲートキーパー協会理事長
- コーディネーター
小泉 浩彰 氏
新潟県燕市教育委員会統括指導主事
- パネリスト
中山 理 氏
基調講演者
- 青木 章子 氏
群馬県教育委員会
- 関崎 智弥 氏
元小学校教員 教育カウンセラー 保護司
- 濱部 威一郎 氏
文部科学省生涯学習政策局男女協働参画課
家庭教育支援室 室長補佐

❖第3分科会❖ 学校教育

研究課題

先人の知恵を現代の学校教育にどのように生かすか

～学校とともに歩むPTAの在り方～

現状と課題

昨今の学校教育は、不登校やいじめ、経済格差による子どもの貧困など、対応に苦慮する様々な問題に直面しています。情報環境の変化に伴い、インターネットトラブルがもとで子どもたちが事件・事故に巻き込まれるケースが増えています。少子化や核家族化が進む中、集団生活への適応、コミュニケーション能力、情操教育等の面でも改善すべき課題が生まれています。

このような難しい局面を開拓し、子どもたちの夢や可能性を拓く手がかりが、当分科会開催地長岡にあります。江戸時代終末期の長岡藩で生まれ、現在まで受け継がれている「米百俵の精神」です。先人の残した知恵や精神をこれからの学校教育にどのように生かしていくかを考えるとともに、人材を育てる教育に資するPTA活動の役割を探ります。

討議の視点

- 1) 「米百俵」の背景とその精神を受け継ぐ長岡の学校教育
- 2) 学校教育に先人の知恵をどのように生かすか
- 3) 人材を育てる教育に資するこれからのPTA活動

提言者

- 基調講演者
高橋 譲 氏
新潟県長岡市教育委員会教育長
- 実践発表者
熊倉 達也 氏
新潟県長岡市立坂之上小学校
加藤 武 氏
新潟県長岡市立坂之上小学校
PTA前会長
- コーディネーター
今井 進太郎 氏
新潟県長岡市立神田小学校PTA元会長
- パネリスト
柳澤 魁秀 氏
トリノ大学講師 書道家
- 山田 正紀 氏
NPO米百俵スクールプロジェクト代表
- 田 村 豊 氏
新潟県教育委員会中越教育事務所
社会教育課副事務官
- 佐藤 秀行 氏
公益社団法人日本PTA全国協議会常務理事

❖第4分科会❖ 地域連携・広報活動

研究課題

子どもたちの健全な成長に資する地域の教育力

～PTA活動の輪の広がりを目指して～

現状と課題

少子化や高齢化によって地域の教育力が弱くなるとともに、人間関係の希薄化が懸念されています。また、いじめや不登校など、子どもを取り巻く問題が複雑化・困難化しています。これらの課題を解決するには、子どもたちを取り巻く大人が総力をあげて取り組む必要があります、情報連携・行動連携の一層の強化が求められます。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の推進により、学校と地域の役割分担が子どもたちの健やかな成長と質の高い教育の実現を可能にします。そのためには、学校やPTA活動の様子を積極的に発信し、協働の輪を広げていくことが大切です。

家庭・学校・地域の協働の在り方を探り、PTAとしてどのように関わっていくかを共に考えましょう。

提言者

- 基調講演者
新谷 さゆり 氏
岐阜県白川村教育委員会社会教育主事
文部科学省コミュニティ・スクール推進員
(C.Sマイスター)
- 実践発表者
菲澤 穀夫 氏
新潟県見附市教育委員会学校教育課長補佐
- コーディネーター
赤澤 節子 氏
新潟県見附市立葛巻小学校校長
- パネリスト
新谷 さゆり 氏
基調講演者
- 菲澤 穀夫 氏
実践発表者
- 丸山 智美 氏
横浜市PTA連絡協議会副会長
- 尾上 浩一 氏
公益社団法人日本PTA全国協議会顧問

討議の視点

- 1) 子どもたちの健全な成長を支援する家庭・学校・地域の協働
- 2) 学校への関心と協働の意欲を高める広報活動
- 3) 地域の人的資源を幅広く巻き込むPTA活動



❖第5分科会❖ 情報と人権

研究課題

ネット社会における大人の役割
～子どもたちの安全を守るために～

現状と課題

通信技術の発達によりメディアは多様化し、多くの子どもたちがソーシャルメディアを利用するようになっています。スマホ等を長時間使用することで、生活習慣が乱れたり、不適切な利用により犯罪の被害者や加害者となったりしています。軽い気持ちで発信した内容が、いじめや不登校、人権問題にまで発展する事例も増えています。

これらの問題に対応するため、何よりも今重要なのは、子どもとメディアに関する最新の情報を的確に把握・分析し、子どもたちの規範となるべき私たち大人（保護者）自身の力量を高めていくことではないでしょうか。

当分科会では、ネット社会を生きる子どもたちのために、家庭・学校・地域が連携し、子どもが安全に賢くメディアを活用するための大（保護者）の役割を考えます。

討議の視点

- 1) 新しい時代に対応した新たなスマホ・ネットのルール作り
- 2) ネットを逃げ場としないための手立て
- 3) いじめ・不登校の誘因となるネットトラブルの防止

提言者

- 基調講演者
竹内 和雄 氏
兵庫県立大学環境人間学部准教授
Wi-Fi大学客員研究員
- 実践発表者
金田 大也 氏
新潟県柏崎市小中学校PTA連合会役員
新潟県柏崎市小中学校PTA連合会関係者
- コーディネーター
竹内 和雄 氏
基調講演者
- パネリスト
金田 大也 氏
実践発表者
須田 愛奈 氏
新潟県柏崎市内高校生代表
廣田 恵子 氏
石川県小松市教育センター所長
大久保 真紀 氏
インターネット利用アドバイザー
佐々木一智 氏
公益社団法人日本PTA全国協議会理事

❖第6分科会❖ 環境教育

研究課題

自然環境を生かす教育への参画
～子どもたちの心豊かな未来を求めて～

現状と課題

自然に親しみ守っていこうとする心や態度を育むことは、子どもたちの心身の健全な成長にとってとても重要です。私たち大人は、体験を通して子どもたちに自然と人とのつながりの大切さを伝え、それが未来につながる活動にしていかなければなりません。

過疎化や高齢化が進む我が国において、自然環境、伝統、文化などを継承し、維持・発展させていくことが困難な地域が増えています。世界農業遺産や日本ジオパークに認定され、朱鷺が生息する当分科会開催地佐渡も例外ではなく、各地域や学校が家庭・関係機関と連携し、それぞれの特徴を生かした対策を考え実践しています。

佐渡で進められている取組や活動をもとに、これから環境教育の方向性と協働のあり方について共に考えましょう。

討議の視点

- 1) 自然環境が子どもたちの成長に与える影響
- 2) 地域に根付く伝統・文化の大切さとPTAの関わり
- 3) 地域の環境資源を生かし未来につなげるPTA活動

提言者

- 基調講演者
辰野 勇 氏
登山家 冒険家
(株)モンベル会長
- 実践発表者
中村 友子 氏
新潟県佐渡市立畠野小学校PTA元会長
- コーディネーター
豊田 光世 氏
国立大学法人新潟大学
「朱鷺・自然再生学研究センター」准教授
- パネリスト
岡崎 実 氏
新潟県厚生連佐渡総合病院副院長
高野 育 氏
生椿の自然を守る会会長
相田 忠明 氏
相田ライスマーニング代表取締役
大呂 延幸 氏
公益社団法人日本PTA全国協議会理事

❖第7分科会❖ 国際理解

研究課題

多文化共生とコミュニケーション能力の育成
～国際社会でたくましく生き抜く子どもたちのために～

現状と課題

子どもたちがこれからの国際社会で主体的に生きていくには、広い視野をもって異文化を理解し、異なる習慣や文化をもった人々と共に生きていく資質や能力が大切です。

世界のグローバル化が進み、児童生徒やPTA会員に外国出身者が増えています。文化の違いを超えてコミュニケーションを深め、互いの価値観を尊重し合う「共生社会」を実現するためには、PTA活動や学校教育にその基盤を築く取組が求められます。

様々な国や地域の文化の違いを理解する上で、コミュニケーション能力の基礎となる「他者および自己を理解する力」と「互いに尊重し合う心」を育むための家庭・学校・地域の在るべき姿について考えます。

討議の視点

- 1) 家庭生活での国際理解や多文化共生
- 2) 家庭、学校、地域における多様なコミュニケーション能力
- 3) 国際化が進む社会に対応するPTA活動

提言者

- 基調講演者
羽賀 友信 氏
新潟県長岡市国際交流センター長
長岡市教育委員会
- 実践発表者
櫻井 徳治 氏
うおぬま国際交流協会副会長
日本語交流支援実行委員会代表
- コーディネーター
渡辺 径子 氏
国立大学法人上越教育大学准教授
元小学校長
- パネリスト
羽賀 友信 氏
基調講演者
櫻井 徳治 氏
実践発表者
篠田 グレチェン 氏
浦佐国際大学職員
アメリカ合衆国出身
篠田 絵里香 氏
カリフォルニア大学サンタバーバラ校学生
南雲 権治 氏
新潟県南魚沼市教育委員会教育長

❖第8分科会❖ 健康安全

研究課題

子どもたちの笑顔を、そして命を守るために
～児童生徒の事件や事故への対応と未然防止に向けた取組～

現状と課題

家族形態の多様化、教職員の多忙化、通信技術の発達による情報の氾濫など、社会環境の急激な変化が子どもたちの心身に大きな影響を及ぼしています。また、自尊意識やコミュニケーション能力の低下、情報メディアの急速な普及に伴い、様々な問題が発生しています。

このような状況の中、児童生徒や学校にかかわる事件や事故にPTA、学校はどういう連携して対応すべきでしょうか。事件や事故の未然防止や子どもたちの健全育成に、家庭・学校・地域が力を合わせ協働する方途を構築する必要があります。

PTAの立場から家庭・学校・地域の行動連携について考え、PTAと学校の果たすべき役割とその取組を協議します。

提言者

- 基調講演者
碓井 真史 氏
新潟青陵大学大学院教授
- 実践発表者
大宮 一真 氏
新潟市小中学校PTA連合会前会長
本間 庸子 氏
新潟市小中学校PTA連合会元副会長
桑原 久満 氏
新潟市立巻東中学校PTA会長
- コーディネーター
佐藤 文俊 氏
新潟市教育委員会学校支援課元指導主事
- パネリスト
碓井 真史 氏
基調講演者
大宮 一真 氏
実践発表者
奈賀 綾子 氏
千葉県PTA連絡協議会監事
齊藤 植栄 氏
川崎市PTA連絡協議会元会長

討議の視点

- 1) 危機的事案発生時における学校・保護者間連携のあり方
- 2) 事件や事故の未然防止に向けた家庭・学校・地域の連携



❖特別第1分科会❖ 日本PTA全国協議会担当

研究課題

「いじめ」心の声に気付くには ～見逃さないために出来ること～

現状と課題

社会環境の急激な変化や価値観の多様化、SNS等の浸透によって、近年のいじめは多種多様になっています。大人から見えないところでいつの間にか発生することも特徴です。いじめ意識の有無に関わらず、加害者及び傍観者は、被害者の心を傷つけていることを理解させるとともに、私たち大人もいじめを見逃さないためにはどうしたらよいかを常に考えなくてはなりません。

いじめの兆候にいち早く気付くため、私たち大人が子どもの小さな変化を感じ取るにはどうしたらよいのか。被害者だけでなく加害者・傍観者を含む全ての当事者からの声を私たち大人が敏感に感じ取ることは、いじめの根幹を理解する上で重要なことであるとあります。

未来ある子どもたちのために、私たち大人が率先していじめの芽を摘んでいくにはどうすべきか、そしてPTAとしてどう行動していくべきか共に考えましょう。

討議の視点

- 1) 子どもたちの様々な行動変化（心理的・身体的な部分）から見えてくるもの。
- 2) 早く気付くための「感覚」を養うには。
- 3) いじめ早期発見のために学校・家庭・地域ではどのように取り組んでいるか。

❖特別第2分科会❖ 文部科学省協力

研究課題

地域学校協働活動推進のためにPTAが果たす役割

～参加者全員の自由な意見交流で次の一手を考えよう～

現状と課題

今後の地域における学校との協働体制の在り方として、地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」へと発展させていく「地域学校協働活動」の推進が強く求められてきています。その実現のためにPTAが果たす役割的重要性はますます高まっています。

全国から集う会員が、そうした地域性を踏まえた活動を共有し、意見を交流し合うことで、PTAに求められている役割について深く理解し合えるものと考えます。

当分科会では、参加者全員が自由な意見交流を行うことができるよう、「ワールドカフェ形式」による参加者討論会の場を設けます。

討議の視点

- 1) 地域と学校を結びつけるためにPTAが果たす役割
- 2) 地域全体で子どもたちの成長を支える仕組みづくりに向けたPTAの関わり方
- 3) 地域の一員としてのPTAのあり方

提言者

- 基調講演者
阿形 恒秀 氏
国立大学法人鳴門教育大学教授
いじめ防止支援機構長
- コーディネーター
高橋 知己 氏
国立大学法人上越教育大学教授
- パネリスト
滝澤 雅彦 氏
公益社団法人日本教育会専務理事
呉本 啓郎 氏
全国国立大学附属学校PTA連合会会長
調 整 中
一般社団法人全国高等学校PTA連合会
外崎 浩司 氏
青森県PTA連合会会長

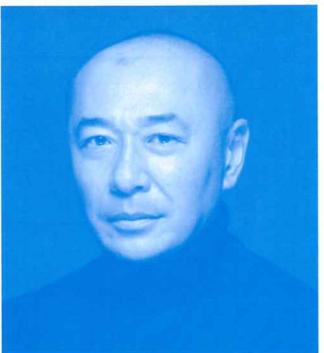
【演題】

全体会記念講演

【講師】

夢を追いかけ つかんだ俳優人生

俳優



1961年生まれ 新潟県三条市出身
舞台を中心に活躍。

1998年に出演したフジテレビドラマ「ショムニ」で話題になる。
その後、舞台、映画、テレビドラマだけでなく、ナレーションや、「トリビアの泉」「爆笑レッドカーペット」など、バラエティ番組のMCをつとめるなど、幅広く活躍を続けている。

現在、フジテレビ「直撃LIVE グッディ!」に、メインキャスターとして出演中。

〈近年の出演作品〉

テレビドラマ	2012年 NHK朝の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」
	2015年 テレビ東京「僕らブレイボーズ熟年探偵社」
	2017年 日本テレビ「スーパーサラリーマン左江内氏」
舞台	2013年 「ヴェニスの商人」(蝦川幸雄演出)
	2014年 「抜目のない未亡人」(三谷幸喜演出)
	2016年 「ナイスガイ in ニューヨーク」(福田雄一演出)
映画	2017年 「黒塚家の娘」(寺十吾演出)
	2017年 東映「花戦さ」(篠原哲雄監督)

ラジオ、CM、歌など、さまざま

会場のご案内

A 第1分科会

上越文化会館

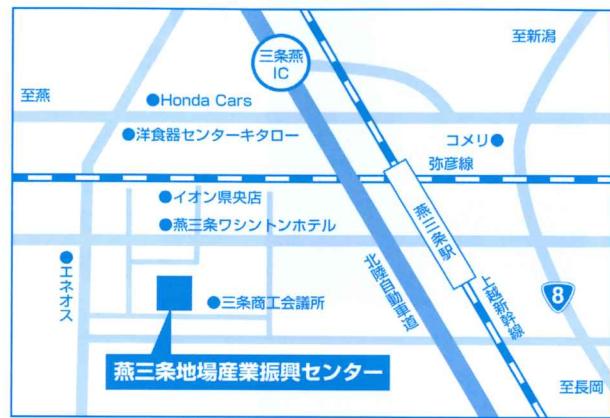
〒943-0804
上越市新光町1-9-10
TEL:025-525-4103
FAX:025-525-4105



B 第2分科会

燕三条地場産業振興センター

(メッセピア)
〒955-0092
三条市須頃1-17
TEL:0256-32-2311
FAX:0256-34-6167



E 第5分科会

柏崎市文化会館 アルフォーレ

〒945-0054
柏崎市日石町4-32
TEL:0257-21-0010
FAX:0257-21-0011



F 第6分科会

両津文化会館

〒952-0005
佐渡市梅津2314-1
TEL:0259-27-2625
FAX:0259-24-1344



C 第3分科会

長岡グランドホテル

〒940-0066
長岡市東坂之上町1-2-1
TEL:0258-33-2111
FAX:0258-33-2106



D 第4分科会

見附市文化ホール アルカディア

〒954-0059
見附市昭和町2-1-1
TEL:0258-63-5321
FAX:0258-63-5322



G 第7分科会

南魚沼市民会館

〒949-6680
南魚沼市六日町865
TEL:025-773-5500
FAX:025-772-8161



H 第8分科会

ANAクラウンプラザ ホテル新潟

〒950-8531
新潟市中央区万代5-11-20
TEL:025-245-3333
FAX:025-243-0493





会場のご案内

I 特別第1分科会

新発田市民文化会館

〒957-0053
新発田市中央町4-11-7
TEL:0254-26-1576
FAX:0254-26-2500



J 特別第2分科会

朱鷺メッセ

〒950-0078
新潟市中央区万代島6-1
TEL:025-246-8400
FAX:025-246-8411



全体会

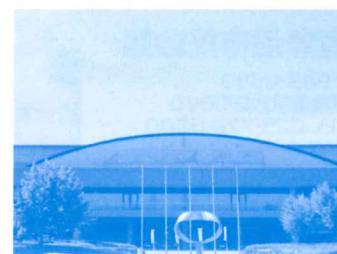
アオーレ長岡

〒940-0062
長岡市大手通1-4-10
TEL:0258-39-2500
FAX:0258-39-2900



ハイブ長岡

〒940-2108
長岡市千秋3-315-11
TEL:0258-27-8812
FAX:0258-27-8818



会場のご案内

H 第8分科会(健康安全)

ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市)

J 特別第2分科会

(文部科学省協力)
朱鷺メッセ(新潟市)

特別第1分科会(日本PTA担当)
新発田市民文化会館(新発田市)

F 第6分科会(環境教育)

両津文化会館(佐渡市)

B 第2分科会(家庭教育)

燕三条地場産業振興センター(三条市)

E 全体会

ハイブ長岡(長岡市)

A 第1分科会(組織運営)

上越文化会館(上越市)

全体会
アオーレ長岡(長岡市)

第3分科会(学校教育)
長岡グランドホテル(長岡市)

第7分科会(国際理解)
南魚沼市民会館(南魚沼市)





分科会・全体会 会場アクセス

	会場	アクセス
A 第1分科会	上越文化会館 (上越市)	えちごトキめき鉄道春日山駅より徒歩約2分 JR信越本線直江津駅またはJR北陸新幹線上越妙高駅より 大会専用シャトルバス、路線バス等をご利用ください。 北陸自動車道上越ICより車で約15分、 上信越自動車道上越高田ICより車で約15分
		JR上越新幹線燕三条駅より徒歩約5分 北陸自動車道三条燕ICより車で約5分
B 第2分科会	燕三条地場産業振興センター メッセピア (三条市)	JR長岡駅より徒歩約3分 関越自動車道長岡ICより車で約20分 北陸自動車道中之島見附ICより車で約30分
		JR信越本線見附駅より徒歩約20分、または大会 専用シャトルバス、路線バス等をご利用ください。 北陸自動車道中之島見附ICより車で約15分
C 第3分科会	長岡グランドホテル (長岡市)	JR信越本線柏崎駅より徒歩約7分、または大会専用シャトル バス、路線バス等をご利用ください。 北陸自動車道柏崎ICより車で約10分
		佐渡汽船両津港より大会専用シャトルバス、タクシー等を ご利用ください。 佐渡汽船両津港より車で約5分
D 第4分科会	見附市文化ホール アルカディア (見附市)	JR信越本線六日町駅より徒歩約10分、JR上越新幹線浦佐駅 またはJR上越新幹線越後湯沢駅より大会専用シャトルバス等 をご利用ください。
		JR新潟駅より徒歩約10分 日本海東北自動車道新潟亀田ICより車で約15分、北陸自動車 道新潟西IC、磐越自動車道新潟中央ICより車で約20分
E 第5分科会	南魚沼市民会館 (南魚沼市)	JR羽越本線、白新線新発田駅より徒歩約15分、 大会専用シャトルバス等をご利用ください。 日本海東北自動車道聖籠新発田ICより車で約30分
		JR新潟駅より徒歩約20分、タクシー、路線バス等をご利用 ください。 日本海東北自動車道新潟亀田ICより車で約15分
F 第6分科会	朱鷺メッセ (新潟市)	JR長岡駅より徒歩約3分 関越自動車道長岡ICより車で約20分、 北陸自動車道中之島見附ICより車で約30分
		JR長岡駅より大会専用シャトルバス、タクシー等をご利用 ください。 関越自動車道長岡ICより車で約10分
G 第7分科会	アオーレ長岡 (長岡市)	JR新潟空港よりJR新潟駅まで路線バス約35分 リムジンバス 約25分、新潟空港より日本海東北自動車道新潟空港ICまで 車で約10分
		JR新潟駅より徒歩約10分 日本海東北自動車道新潟亀田ICより車で約15分
H 第8分科会	特別 第1分科会	JR新潟駅より徒歩約10分 JR新潟駅より徒歩約10分 JR新潟駅より徒歩約10分 JR新潟駅より徒歩約10分
		JR羽越本線、白新線新発田駅より徒歩約15分、 大会専用シャトルバス等をご利用ください。 日本海東北自動車道聖籠新発田ICより車で約30分
I 特別 第2分科会	朱鷺メッセ (新潟市)	JR新潟駅より徒歩約20分、タクシー、路線バス等をご利用 ください。 日本海東北自動車道新潟亀田ICより車で約15分
		JR長岡駅より徒歩約3分 関越自動車道長岡ICより車で約20分、 北陸自動車道中之島見附ICより車で約30分
J 全体会	ハイブ長岡 (長岡市)	JR長岡駅より大会専用シャトルバス、タクシー等をご利用 ください。 関越自動車道長岡ICより車で約10分
		新潟空港よりJR新潟駅まで路線バス約35分 リムジンバス 約25分、新潟空港より日本海東北自動車道新潟空港ICまで 車で約10分
	新潟空港からのアクセス	新潟空港よりJR新潟駅まで路線バス約35分 リムジンバス 約25分、新潟空港より日本海東北自動車道新潟空港ICまで 車で約10分

※各会場には私有車等の駐車場のご用意はありません。

また全体会会場のアオーレ長岡周辺は、混雑が予想されるため私有車等の乗り入れはご遠慮ください。

シャトルバス運行のご案内

地図記号	会場	シャトルバス運行区間	所要時間	片道料金	申込番号
A 第1分科会	会場	JR上越妙高駅→会場 12:20発/12:40発	約20分	200円	1J-1220 1J-1240
		JR直江津駅→会場 12:20発/12:40発	約10分	200円	1N-1220 1N-1240
		JR新潟駅南口→会場 10:30発	約100分	2,000円	1K-1030
		JR燕三条駅→会場 11:00発	約70分	1,500円	1T-1100
D 第4分科会	会場	会場→JR直江津駅 分科会終了後 適宜運行	約10分	200円	1-0000
		会場→JR新潟駅南口 17:20発	約100分	2,000円	1K-1720
		会場→JR燕三条駅 17:20発	約70分	1,500円	1T-1720
		JR見附駅→会場 11:30発/12:15発	約5分	200円	4-1130 4-1215
E 第5分科会	会場	会場→JR見附駅 分科会終了後 適宜運行	約5分	200円	4-0000
		会場→新潟駅南口 17:20発	約60分	1,000円	4-1720
		JR新潟駅南口→会場 11:00発	約80分	1,500円	5-1100
		JR柏崎駅→会場 12:30発	約5分	200円	5-1230
F 第6分科会	会場	会場→JR新潟駅南口 17:20発	約80分	1,500円	5K-1720
		会場→JR燕三条駅 17:20発	約50分	1,000円	5T-1720
		会場→JR柏崎駅 分科会終了後 適宜運行	約5分	200円	5-0000
		佐渡汽船両津港→会場 11:20発/11:40発/12:00発	約5分	200円	6-1120 6-1140 6-1200
G 第7分科会	会場	会場→佐渡汽船両津港 分科会終了後 適宜運行	約5分	200円	6-0000
		JR浦佐駅→会場 12:15発	約25分	400円	7U-1215
		JR越後湯沢駅→会場 12:15発	約30分	400円	7E-1215
		会場→JR浦佐駅 分科会終了後 適宜運行	約25分	400円	7U-0000
I 特別 第1分科会	会場	会場→JR越後湯沢駅 分科会終了後 適宜運行	約30分	400円	7E-0000
		会場→JR新潟駅南口 17:20発	約90分	2,000円	7K-1720
		会場→JR燕三条駅 17:20発	約60分	1,000円	7T-1720
		JR新発田駅→会場 12:00発/12:30発	約5分	200円	特1-1200 特1-1230
J 特別 第2分科会	会場	会場→JR新発田駅 分科会終了後 適宜運行	約5分	200円	特1-0000
		会場→JR長岡駅 17:20発	約90分	2,000円	特1-1720

第2分科会・第3分科会・第8分科会・特別第2分科会はシャトル運行はいたしません。〈タクシー、路線バス等をご利用ください〉

※新潟大会では、公共交通機関での移動が困難な会場（上記分科会場）へシャトルバスをご用意いたします。

※シャトルバスは全て事前予約制、有料となっております。参加登録・宿泊等と併せてお申し込みください。

※参加証・宿泊確認書などと一緒にシャトルバスの乗車券を事前にお送りさせていただきますので、大会参加時にご持参ください。

※発着時間・所要時間については、交通事情、同一時刻の複数便運行等により前後する場合がございます。予めご了承願います。

※定期路線車または観光用の車両で運行いたします。着席できない場合があります。

※バス乗車券の当日販売はございません。予めご了承願います。

※バス乗車場所や最終のご案内は乗車券をもってご連絡申し上げます。

※お申し込みの少ないシャトルは運行を中止する場合があります。